

天竜市

地形概況

天竜川・気田川・二俣川・阿多古川等の流域山地とその谷底低地からなり、二俣はやや広い谷底低地である。流路の曲流にともなう段丘と押し出し状の崖錐の斜面が発達し、高位平坦面や山腹緩斜面には集落も多い。地すべり指定地も多い。

地質概況

天竜川・気田川・二俣川・阿多古川等の流域山地とその谷底低地からなり、二俣はやや広い谷底低地である。流路の曲流にともなう段丘と押し出し状の崖錐の斜面が発達し、高位平坦面や山腹緩斜面には集落も多い。地すべり指定地も多い。

気象概況

年平均気温は 15.2°C(二俣町)と内陸に位置するわりに高い。標高が高くなるにつれて気温が低下するが、山間盆地は風が弱いため日中の気温が高くなる。年平均降水量は 2,285mm(同上)と県内平均値よりやや少なく、春から夏にかけて雨が多い。

災害事例 地震

- 1944年12月7日(昭和19年) 東南海地震 M=7.9
県中・西部で被害があったが、当地では被害の記録はなく小屋が痛んだ所がある程度。船明において、墓石が倒れ、埋め立てた所に亀裂を生じ、水を噴き出した。震度は二俣・光明で4~5である。
- 1854年12月23日(安政元年) 安政東海地震 M=8.4
全県下に被害があった。しかし当地は比較的軽微で震度が二俣で5~6程度、横山・横川・西鹿島などは5であった。

災害事例 台風

- 1979年10月19日(昭和54年) 台風20号
全県下で被害を生じた。熊で時間雨量 11時 52mm、12時 74mm、13時 52mmの豪雨で、床上浸水17戸、床下浸水22戸、流失田1.7ha、冠水田19ha、決壊道路15箇所、橋梁1箇所、堤防2箇所、崖崩30箇所の被害があった。
- 1974年7月7日(昭和49年) 台風8号(七夕豪雨)
全県下に被害があった。天竜の最大日雨量は363mmに達した。死者2人、負傷者6人、全壊16戸、半壊2戸、流失4戸、床上浸水994戸、床下浸水972戸、冠水田畑881ha、決壊道路120箇所、橋梁6箇所、堤防58箇所、山崩れ84箇所の被害があった。
- 1971年8月30日(昭和46年) 台風23号
全県下に風水害があった。熊での日雨量は296mmに達し、当地での被害は半壊1戸、床下浸水28戸、田畑冠水128ha、道路決壊1箇所、堤防決壊1箇所、山崩れ4箇所などであった。
- 1968年8月29日(昭和43年) 台風10号

全県下特に西部で風水害があった。熊において 1 時間最大雨量 51mm(3 時~4 時)に達した。被害は床上浸水 161 戸、床下浸水 123 戸、田畑冠水 135ha、道路決壊 28 箇所、山崩れ 21 箇所であった。

- 1850 年 8 月 28 日 (嘉永 3 年)
大暴風雨で天竜川洪水となり、船明村で流失家屋 45 戸。二俣村では新町で 2 階まで浸水、車道は床下浸水。天竜川筋の村々は堤防が切れて田畑は冠水した。
- 1836 年 9 月 23 日 (天保 7 年)
大風雨で天竜川増水(常水より 3 丈 5 尺)、船明村では全壊 6 戸、大破 54 戸。田畑の被害も大きかった。
- 1828 年 8 月 10 日 (文政 11 年)
大風雨で天竜川大洪水となる。常水より 6 丈高、船明村で 12 戸流失し 30 戸潰れる。相津村で 1 戸流失し 5 戸、破損する。小松崎堤防が押切れる。西雲名村の住家 3 戸流失。二俣村で川口堤防が切れ。新町は屋根まで浸水し車道でも 6 尺位浸水する。渡ヶ島村では堤防が残らず切れ田畑に大石が入る。そのほか阿多古川筋の村々も風水害がひどかった。
- 1816 年 8 月 26 日 (文化 13 年)
大風雨、天竜川が満水となり、川口堤防 93 間が決壊し、二俣村は東・西不通となる。9 月 11 日にも洪水、大谷村で堤防 30 間が決壊、山東村森脇で畑作が荒れ、阿蔵沢も大水がでる。
- 1789 年 7 月 10 日 (寛政元年)
2 日にわたり大雨、天竜川満水となり田畑に 1 丈余冠水し、19 日まで浸水する。気田川の増水 1 丈 8 尺。小川村の枝郷松間・唐井栗で堤防が切れる。
- 1772 年 8 月 30 日 (安永元年)
大風雨、百姓家屋が倒壊し、田畑の作物ことごとく被害をうける。
- 1705 年 8 月 17 日 (宝永 2 年)
天竜川が洪水となり、水嵩 1 丈 8 尺に及び、堤防は船明村まで 1,471 間決壊した。諏訪神社 3 社及び民家が流失した。流失破壊した民家は船明村で 89 戸、北鹿島村で 28 戸で、その他田畑も押流された。

災害事例 豪雨

- 1962 年 7 月 2 日 (昭和 37 年)
熊で 1 日に 42mm、2 日に 297mm の日雨量を計測した。田畑冠水、道路・橋に被害を生じた。
- 1961 年 6 月 27 日 (昭和 36 年)
熊で 27 日日雨量 304mm に達し、天竜~水窪間道路は冠水し、決壊 5 箇所、雲名・小川・相津で流失家屋 4 戸、床下浸水 150 戸を出した。
- 1941 年 7 月 12 日 (昭和 16 年)

県下全般に大雨。天竜市二俣で死者行方不明 2 人。全半壊流失家屋 36 戸、浸水家屋
床上 610 戸、床下 380 戸に達した。

災害事例 旱魃

- 1770 (明和 7 年)

旧暦 5 月 29 日から 8 月 2 日まで日照が続き、干魃となり畑作は皆無、田植えもでき
ないため北遠村々では夫食の拝借願いを出した。